

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-	
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・街中の商店街で客数が増加している。	
		一般小売店〔紙類〕（経営者）	来客数の動き	・花見の時期に、観光客数の増加があり、景況感が上向いている。	
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・4月になって気温が上昇しない日が続き、来客数が減少したが、後半少し盛り返している。前年同月比で売上が大きく上回るテナントもあり、全体的には少し良くなっている。	
		スーパー（店長）	単価の動き	・4月の客単価は、前年比97.5%で前月の95.0%から回復している。	
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・売上、数量とも前年を2ポイント程度上回っており、わずかながら高価格の商品も動き出している。	
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・4月は内容的にはこれまでと変わらないが、全体の実績は、特別の受注で昨年並みか若干上回って推移している。なお、売上も上向いており、コマースを行った商品の効果が出て、消費者の動向も上向いている。	
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・4月の販売台数は前年比114%となっており、補助金効果が継続している。	
		乗用車販売店（統括）	単価の動き	・客も以前のような買い控えから、必要なものは購入するようになっており、購買意欲は上向いている。	
		その他専門店〔和菓子〕（営業担当）	販売量の動き	・出荷数、生産数とも上向いている。	
		観光型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・オフシーズンと比較して客の反応は良いが、客数の伸びがみられない。	
		観光型ホテル（経理総務担当）	販売量の動き	・1月から4か月連続で売上が前年を上回っており、景気の回復が実感できる。ただし、個人客は増加しているが法人利用の回復は今一つである。	
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・前年と比べ、宿泊の稼働が4%向上している。これまで自重気味だった出張も徐々に回復している。	
		都市型ホテル（総務担当）	競争相手の様子	・外国人旅行者も戻って来ており、通貨の変動も落ち着いているが、代理店等の金額に対する考え方は大変に厳しい。	
		タクシー運転手	販売量の動き	・4月の運賃値上げで、売上が1人当たり前月比約10%伸びている。反応も良く、雨が多かった影響もあるが、利用回数も減少することなく推移している。	
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・デジタルテレビの買い替え、購入は順調に推移している。	
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・ネットワークの更新を保留していた客が、前向きに検討し始めている。	
		通信会社（広報担当）	販売量の動き	・今年度は例年に比べて、大きく販売量が伸びている。	
		テーマパーク（管理担当）	来客数の動き	・リニューアルオープン後来客数が増加している。	
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注件数は、若干持ち直し傾向にある。	
		住宅販売会社（経理担当）	お客様の様子	・住宅版エコポイント制度や長期優良住宅への補助が決まり、住宅を検討する客の動きが出てきているが、デフレ傾向は依然続いており、低価格商品の検討には厳しいものがある。	
		変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・天候不順でも、商店街への人通りは減少していない。
			商店街（代表者）	来客数の動き	・天候不順もあるが、先行き不安がうかがわれ、来店頻度が減少している。また、客が引き続き買物に慎重になっている。
			商店街（代表者）	お客様の様子	・来客数が少ない上に、商品を手にとらない客が多く、厳しい状況である。
			一般小売店〔酒店〕（経営者）	お客様の様子	・歓送迎会、花見、総会等で人の動きはあったが、景気が上向くところまでは至っていない。昼食時の客が減少している店もあり、根強い節約志向がうかがえる。

一般小売店〔印章〕（営業担当）	お客様の様子	・大手企業からの受注は増加したが、一般消費者・中小企業の受注は前年を下回っており、伸び悩んでいる。また、3月は会社設立等の年度末特有の注文があったが、4月はその反動で中小企業は厳しい状況である。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・この3か月の売上は、前年の5～8%減の状況で推移している。
百貨店（営業担当）	単価の動き	・気温の低い日が多く、ジャケット等高単価商品を中心に、春物の売上が伸びなかった。客は必要最低限の物のみ購入している。
百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・美術、宝飾等の高額品に対する富裕層の購買力は上向いてきている。しかし、寒暖の差が厳しい天候も一因ながら、紳士ビジネススーツを中心に衣料品は低迷が顕著である。ただ3月以降、来客数は前年を上回り、わずかながら明るい兆しが見えている。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・衣料品は全般的に厳しい状況が続いているが、低価格の用品雑貨や季節物は売上を伸ばしている。また、例年売上に寄与した物産展は、今回は前例がないほどの大変厳しい状況である。
百貨店（電算担当）	販売量の動き	・店全体の売上は、前年同月並みであるが、内容は特に「うまいもの大会」等催事の売上が良い反面、固定の売場が厳しく、天候不順の影響で、婦人服の売上も厳しい状況である。
スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価は3か月前と変わらない状況である。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数の前年割れが続いている。
スーパー（管理担当）	販売量の動き	・都心部での閉店が後をたたないなか、景気回復の兆しは感じられない。
スーパー（販売担当）	お客様の様子	・客の買上点数が増加せず推移している。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・土日の車両の動きが活発となり、気候も良くなって、観光地等での消費活動が活発化している。
衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・天候不順により、初夏物等の売上が伸び悩んでいる。
衣料品専門店（地域ブロック長）	販売量の動き	・昨年との気温差から、半袖物を中心に売上が大きく減少している。
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・昨年はETCの特需があり、大きく売上を伸ばしたが、新年度はその反動があり、全体的には一進一退で推移している。なお、政府の自動車に関する販売促進策については反応を感じている。
乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・4月は、需要月の反動が予想されたが、販売において前年ほどの極端な減少もなく推移している。
乗用車販売店（サービス担当）	来客数の動き	・フェアを開催しても、新聞チラシを出しても来客が減少している。特に、就職決定者が例年に比べて極端に減少している。
その他専門店〔布地〕（経営者）	単価の動き	・今までなら購入していた価格の商品を、ためらう客が増加している。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・家族の利用が安定してきている。
スナック（経営者）	お客様の様子	・客の話では、「景気が悪い」「売上が落ちた」「来客が少ない」という話しかない。また、酒を専門に取扱う飲食店で閉店が続いており、全体的には厳しい状況である。
その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（支配人）	お客様の様子	・依然として平日は落ち込み、週末が伸びる状況だが、週末の伸び幅も減少している。
タクシー運転手	お客様の様子	・4月は学会やスポーツ等のイベントもあり、客の動きが活発で、昼夜ともに順調に推移している。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・テレビ、ネットともに客の節約志向が根強い上に、業界他社の攻勢を受けており、解約が大幅に増加している。
テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・4月は気温の低い日が多く、来園者の動向は鈍い状況である。
ゴルフ場（営業担当）	競争相手の様子	・シーズンに入り3か月前より予約が増加したが、天候不順で来客数が伸び悩んでいる。

	美容室（経営者）	来客数の動き	・客の財布のひもが固く、低価格志向も徹底しており、来客数が減少し、来店周期も延びてきている。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・客からは景気の良い話は聞こえてこず、財布のひもが固いままである。
	設計事務所（経営者）	単価の動き	・景気は低水準で横ばいの状況である。消費者は必要で、少しでも安価な商品を探している。
	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・融資・補助・税制など国の優遇制度や、最近のエコポイント制度が執行されているが、業界での受注にはつながっていない。
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・住宅版エコポイント制度が始まったが、新築住宅は条件が厳しい割に最大30万ポイントとメリットが低いので、客の購入意欲を刺激するには至っていない。
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・来場客の意識が低いなりに落ち着いてきている。客は消費には慎重だが、一時の意識の萎縮はなく、価格には敏感でも納得すれば購入している。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・少子化、デフレ、オーバーストアの三重苦に加え、天候不順の四重苦で衣料品業界は、春夏衣料を中心に大変厳しい状況である。
	一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・新茶で例年盛り上がる時期だが、天候の影響で新茶の仕入れも難しく、品質が悪く、価格が高いことから、客の購買意欲も大変低調である。先行きに不安を感じている。
	一般小売店〔靴〕（経営者）	単価の動き	・客の販売意欲が著しく低い状況である。
	一般小売店〔酒〕（営業）	販売量の動き	・天候不順で、花見等の季節需要も例年に比べて低く、飲料店の売上もかなり減少している。また、店も低価格競争で非常に厳しい状況である。
	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・4月は中旬以降、雨や気温の低下で春夏物商品の動きが極端に鈍くなっている。物産催事による集客効果はあったが、売上につながっていない。必要な時に購入するという客の購買動向がみられる。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・4月は客単価の下落が継続しており、セール・割引催事が当たり前となっている。来客数が多くても売上が伸びない仕組みとなっており、店は前年比96～97%で推移している。
	百貨店（売場担当）	お客様の様子	・商品別にみると、家庭用品関連や食料品等では、下げ止まり感が出ているが、身回り品や婦人アパレル等で不振が続いており、全体的には厳しい状況である。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は3か月前に比べると1.5ポイント減少しているが、単価の変化はない。相変わらず、スーパー、百貨店などの使い分けが進んでいる。また、客の店舗の使い分けが更に進んでおり、価格の高いコンビニは敬遠される傾向にある。緊急性のある商品が動き、そうでない商品は動きが鈍くなっている。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・4月は天候不順で、来客数の前年割れが続いている。
	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客は低単価の弁当を中心に購入し、飲料もペットボトルより低価格のバック商品を購入しており、客単価が引き続き大幅に低下している。
	衣料品専門店（地域ブロック長）	販売量の動き	・新商品に対しても、客単価の低下傾向は続いており、価格の二極化が鮮明化するなかで、全体としては厳しい状況である。
	衣料品専門店（販売促進担当）	お客様の様子	・4月は中盤まで来客数・購入客数・売上は、前年よりも増加傾向で推移していたが、後半の気候の影響で来客数が減少している。
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・3月まではエコポイント制度に対する駆け込み需要で、悪いながらも販売は変化なく推移したが、エコポイント制度の訴求もインパクトが薄れ、現在は低迷している。
	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・例年になく、4月は急激に新規来客数が減少している。
	その他専門店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・都市部では高額商品に明るさが出てきたようだが、当地では、いまだ景気の回復はなく、宝飾品等の売行きは厳しい状況である。
	その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）	単価の動き	・客単価が低下する傾向が続いており、全ての店舗が前年の売上を下回っている。また、寒い日が続き土日の来客数も減少している。

	都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・4月の企画商品は効果的だったが、日常の客が減少している。また、首都圏からのツアーの催行率が大幅に減少している。
	タクシー運転手	販売量の動き	・4月は来客数、売上ともに減少しており、非常に厳しい状況である。
	タクシー運転手	お客様の様子	・客からは景気の良い話は聞こえてこず、選挙も重なって、売上は前年比で20%減少している。
	競艇場（職員）	販売量の動き	・3か月前にあった特別の企画が、4月はなく、売上が減少している。
悪く なっている	百貨店（売場担当）	来客数の動き	・催事の集客数も減少しており、外販も買い控えが目立っている。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・当店の入る店舗ならびに近隣の商業施設から、有力テナントの撤退が相次いでおり、徐々に商圈としての集客性が悪化している。当店も来客数が前年比90%を切る状況となっている。
	スーパー（財務担当）	単価の動き	・消費者の低価格志向により、既存店の客単価が97.8%と前年割れが続いている。
	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・お弁当を中心に、客単価の下落が続いている。
	衣料品専門店（経営者）	競争相手の様子	・4月は気候が暑くなることを想定していたが、天候不順で夏物が動いていない。また、同業他社の閉店セールが行われるが、来客数もなく売上も厳しい状況である。
	住関連専門店（広告企画担当）	単価の動き	・客数を増加させるため、低価格商品の企画を行わざるえない状況であり、結果的に単価の下落を招いている。
	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・ファミリー層がかなり減少している。
	旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・決算も終了したが、景気の影響で、費用抑制が続いている。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・休みの店が増加している。また、自ら模様替え等をする店が多く、来店サイクルも長くなっており、宣伝費や材料費等の経費を削減して対応しているが、来客数は伸びず悪循環となっている。
	企業 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	
木材木製品製造業（経理担当）		受注量や販売量の動き	・回復までには至らないが、前年並みに戻りつつある。
鉄鋼業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・短納期品であるが、自動車・エレクトロニクス関係の受注量がおう盛となっている。
電気機械器具製造業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・エアコン関連は依然高水準の受注があり、受注残も3か月以上になっており、対応に苦慮している。
輸送用機械器具製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・売上は例年に比べ順調に推移している。
輸送用機械器具製造業（経理担当）		受注量や販売量の動き	・主要な客からの受注量は、米国の大手金融機関の破たん前の水準に戻りつつある。
輸送業（統括）		それ以外	・4月は特別な受注で、3か月前に比べ良くなっている。
通信業（部門長）		受注量や販売量の動き	・短期的な需要増加だが、顧客企業へのコスト削減に関する提案での受注は着実に伸びている。
通信業（営業企画担当）		取引先の様子	・4月に入り、客からの引き合いで、価格的には厳しいものの前向きな商談が増加している。
金融業（業界情報担当）		取引先の様子	・国内生産は米国の大手金融機関の破たん前の8～9割に回復し、前年比で大幅プラスを継続しており、利益も過去のピークに近い水準に回復している。
変わらない	食料品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・客との協議を踏まえ、適正価格での販売価格の見直しを行っている。
	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・製造部門の稼働率は依然として回復していない。特にセメントの生産は内需の縮小による影響を受けており、生産規模も縮小せざるをえない。
	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・5月連休需要もあり、生産・出荷ともやや好調ながら、水準としては低い状況のままである。
	非鉄金属製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・一部の分野を除き出荷量に特段の変化はない。

	一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・国内市場では、大規模な展示会で前年を上回る実績があり、回復の兆しがみられるが、海外市場は依然として厳しい状況である。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注はあるが、天候不順で就労の状況が悪化している。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現在までの手持ち工事に関しては、収益性は上昇している。	
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・取引先状況は、単月実績では大半が前年を下回っているが、減少幅は縮小傾向にある。しかしながら、取引先からのヒアリングでは、受注に関し単価・数量ともに回復の兆しが無いとの発言が多い。	
	不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数・成約件数が減少している。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・建設業、廃棄物処理業関係の業績が悪い。業界全体で警戒感があり、積極性がみられない。	
	コピーサービス業（管理担当）	取引先の様子	・若干の商談問い合わせはあるが、成約に結びつかず、厳しい状況が続いている。	
やや悪くなっている	食料品製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少している。	
	金属製品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・得意先より価格値下げ要求があり、約10%の値下げを受け入れた。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・残業の休日出勤時間は減少している。	
	輸送業（運送担当）	取引先の様子	・航空貨物の発送量が減少し、陸送に移行している。	
悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・3月の状況をその3か月前である前年12月と比較すると、水揚数量は573トン、水揚金額は3億500万円の大規模減少となっている。前年同月と比較すると、水揚数量は10トン（前年同月比99.4%）、水揚金額では2,940万円（同91.2%）の減少である。	
	その他製造業【スポーツ用品】（総務担当）	受注量や販売量の動き	・海外需要、特にアメリカ、ヨーロッパ向けは好調だが、国内需要は依然低迷が続いている。また、低価格化が進行しており、非常に厳しい状況である。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人依頼件数が、前年に比べ20%増加している。
		人材派遣会社（担当者）	求人数の動き	・企業求人は一時保留されていたものが回復している程度で、繁忙による採用までには至っていない。
		求人情報サイト運営（支店長）	求人数の動き	・中途採用の問い合わせが増加している。また、製造業を中心に人材への投資傾向が復調している。
		求人情報誌製作会社（支社長）	採用者数の動き	・中途採用の求人社数、求人数が増加している。
		新聞社【求人広告】（担当者）	周辺企業の様子	・中小企業経営者の会合での印象では、経営者の意識に上向きの変化がみられる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は3か月連続、前年同月比で増加している。製造業は、機械・装置・設備等の製造関係を中心に5割増加となり、最悪の状況だった前年同月と比べ、一部の業種で持ち直しの動きがみられるようになった。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・卸小売業、運輸業などで求人数の増加が目立っている。
		民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・製造業を中心に業績が回復しており、関連サービス業も業務が繁忙化しつつある。前年実績を下回った企業も、今期は増員を計画するなど、船舶関連会社等では明るい材料も出始めてきている。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・人材派遣事業では、一部の業種で採用の動きが出てきているものの、当地域の主要産業は採用意欲が低く、人材派遣の受注数は、低い水準で横ばい傾向が続いている。
		求人情報誌製作会社（担当者）	採用者数の動き	・会社説明会の応募状況が好調である。
		新聞社【求人広告】（担当者）	求職者数の動き	・地方では新卒大学生の採用状況は依然厳しい状況が続いている。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同月及び3か月前と比べても、求人の数・業種とも大きな変化はない。製造業では休業等の生産調整が多く行われており、事業所における雇用の意欲がみられない。
やや悪くなっている	学校〔大学〕 （就職担当）	採用者数の動き	・4月に入り、例年100名以上の求人をしていた大手スーパーが、2011年4月の採用を中止しており、他の企業への影響が懸念される。
悪くなっている	-	-	-